

以下、本文

【情報公開文書】

炎症性腸疾患における LRG(ロイシンリッチ $\alpha$ 2 グリコプロテイン)の  
臨床的有用性の検討

1. 研究の対象

2020年8月～2021年7月の間に秋田大学医学部附属病院、大曲厚生医療センターに通院したことがある潰瘍性大腸炎、クローン病の患者さんが本研究の対象となります。

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎、クローン病の炎症の評価のためには内視鏡検査が必要です。しかし、内視鏡検査は侵襲が高いため、定期受診時には炎症を客観的に数値化するために採血検査によるCRP測定などが行われます。しかし潰瘍性大腸炎、クローン病の一部の患者さんではCRPが高くないのに内視鏡検査をすると炎症が確認される患者さんがおり、近年疾患活動性を評価するためのCRPを補完する採血検査としてLRG(ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン)が用いることができるようになりました。まだ新しい検査項目ですので、潰瘍性大腸炎やクローン病患者さんの日常診療にどのように役に立てるかを明らかにしていく必要があります。今回我々は、LRGを測定した患者さんの臨床データを検討することで、LRGが実臨床に役立つような結果を示したいと考えています。本研究は倫理委員会承認日から2022年3月31日まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

外来受診時の問診や採血検査、内視鏡検査などの情報を電子カルテから得ます。この際、個人情報を含まない状態でデータが扱われ、データを見たときに他者に個人が特定されることのないように注意いたします。本研究でデータが用いられることで患者さんが不利益を受けることはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学医学部附属病院 消化器内科 下平 陽介  
大曲厚生医療センター 内科(消化器) 小野地 研吾

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市本道 1-1-1

秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学講座

TEL: 018-884-6104 FAX: 018-836-2611

研究代表者：下平 陽介

-----以上